



2020年1月6日

各位

株式会社 十六銀行
株式会社 めぶきフィナンシャルグループ
株式会社 百十四銀行
株式会社 南都銀行
株式会社 山口フィナンシャルグループ
株式会社 三菱UFJ銀行
日本アイ・ビー・エム株式会社

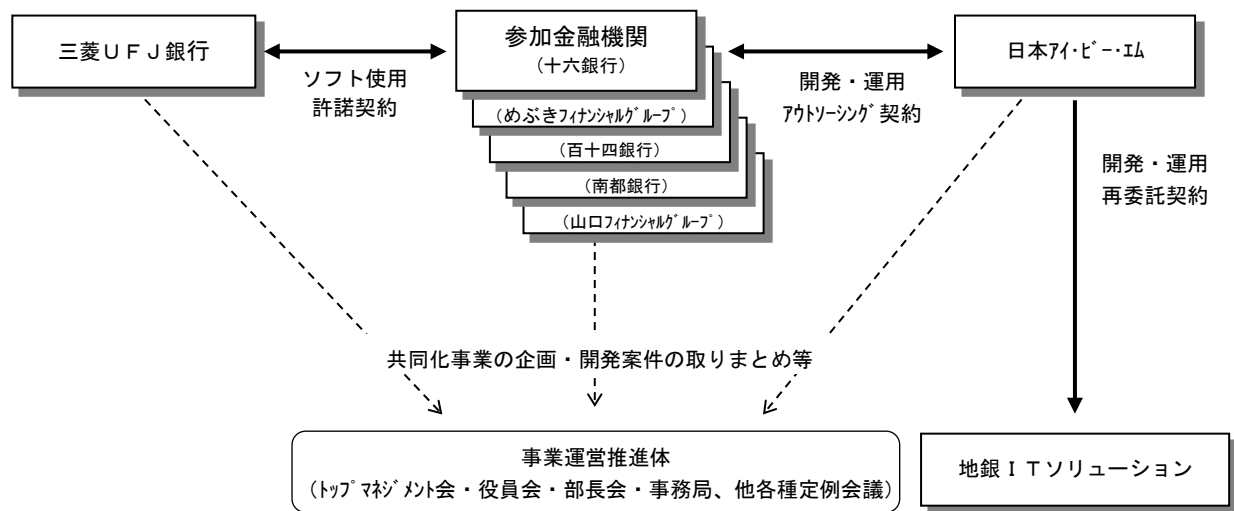
足利銀行における「*Chance* 地銀共同化システム」の稼働について

株式会社十六銀行（頭取 ^{むらせゆきお} 村瀬幸雄）、株式会社めぶきフィナンシャルグループ（社長 ^{さきしまりつお} 笹島律夫）、株式会社百十四銀行（頭取 ^{あやだゆうじろう} 綾田裕次郎）、株式会社南都銀行（頭取 ^{はしもとたかし} 橋本隆史）、株式会社山口フィナンシャルグループ（社長 ^{よしむらたけし} 吉村猛）、株式会社三菱UFJ銀行（頭取 ^{みけかねつぐ} 三毛兼承）および日本アイ・ビー・エム株式会社（社長 ^{やまぐちあきお} 山口明夫）が共同で運営する『*Chance* 地銀共同化システム』が、本日めぶきフィナンシャルグループ傘下の株式会社足利銀行（頭取 ^{まつしたまさなお} 松下正直）にて予定通り稼働しましたので、お知らせいたします。

1. 『*Chance* 地銀共同化システム』の概要

- （1）『*Chance* 地銀共同化システム』は、三菱UFJ銀行の勘定系、情報系などの基幹システムを基に、参加金融機関の共通ニーズと個別ニーズを反映させて、構築したシステムです。参加金融機関は、三菱UFJ銀行が開発した高度な業務ノウハウを蓄積した業務ソフトウェアなどの継続的提供を受け、日本アイ・ビー・エムが持つ先進テクノロジーを活用した共同化システムとして利用することで、将来のIT対応力を確保してまいります。
- （2）参加金融機関は、日本アイ・ビー・エムに開発・保守・運用を委託し、コンピュータを同社のセンターに集約すること、開発・運用要員を同社の子会社として設立した株式会社地銀ITソリューションに集約することなどにより、システム経費の削減を図ってまいります。
- （3）共同化する業務は、預金・融資・外為などの勘定系に加え、情報系なども含めた範囲を対象とし、さらにはサイバー攻撃の脅威に対するCSIRT活動の連携体制にも広がっています。参加金融機関、三菱UFJ銀行および日本アイ・ビー・エムから構成される事業運営推進体を主体に、今後も共同化の活動範囲の拡大を検討してまいります。

2. 『Chance 地銀共同化システム』の運営スキーム



以上

【本件に関するお問い合わせ先】
事務部システム管理グループ 平野・高橋
058-266-5284